

ぜんこくがっこうきゅうしよくしゅうかん 【全国学校給食週間】

がっ か にち しゅうかん ぜんこくがっこうきゅうしよくしゅうかん
1月24日～30日までの1週間は『全国学校給食週間』です。

がっこうきゅうしよく めいじ ねん やまがたけんつるおかし
学校給食は、明治22(1889)年に山形県鶴岡市ではじまりました。

こんだては、おむすびと焼き魚、つけものといった簡単なものでした

が、これが日本で初めての給食といわれていて、その後、だんだんと

ぜんこく ひろ
全国に広がりました。

しょくりょう ふそく せんそうちゅう ちゅうし きゅうしよく せんそう
食料の不足により戦争中に中止されていた給食でしたが、戦争

お しょうわ ねん おく こむぎこ だっし
が終わった昭和20年に、アメリカから送られてきた小麦粉、脱脂

ふんにゅう つか さいかい ざい ぶ
粉乳などを使って再開しました。その後、すこしずつこんだてが増え、

べいはん きゅうしよく ないよう じゅうじつ
米飯(ごはん)給食もはじまり、内容が充実してきました。



げんざい がっこうきゅうしよく きゅうしよく いぎ やくわり りかい かんしん
現在の学校給食では、給食の意義や役割について理解や関心を

とく
もてるようなさまざまな取り組みをおこなっています。

かつらぎし きゅうしよく ならけん しょくぶんか つた りょうり しょくざい と
葛城市の給食では、奈良県の食文化を伝える料理や食材を取り

い そだ ちいき つた
入れ、みなさんの育つ地域のすばらしさをたくさん伝えていけるような

きゅうしよく とど まいにち たの
給食を届けていきます。毎日、楽しみにしててくださいね。